



毎日が人権デー！

校長 中園 明男

毎年12月10日は「世界人権デー」です。日本では12月4日から10日までの一週間を「人権週間」としています。いじめや虐待、性被害等のこどもの人権問題、インターネット上の人権侵害、障害のある人や外国人、性的マイノリティ等に対する偏見や差別、ヘイトスピーチや同和問題、ハンセン病患者・元患者・その家族に対する偏見や差別の問題といった多様な人権問題が依然として存在しています。

これらの問題の解決には、私たち一人一人が様々な人権問題を、自分以外の「誰か」のことではなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、正しい理解と認識を深めることが不可欠です。本校では、11月27日から12月11日までを「校内人権旬間」と位置づけ、意識の高揚を図るさまざまな活動に各学年で取り組んでいます。

今年度の人権集会では、アニメ「めぐみ」を全校児童で視聴しました。担当した職員は、「内容はちょっと難しい部分もありましたが、このようなことがあったことを今後も忘れないでいてほしい。」と子どもたちに呼びかけていました。

さて「人権」という言葉を聞くと「むずかしい」イメージが先行するかもしれませんが、「人権」はすべての人間が生まれながらにして持っている権利であり、人間が人間らしく生きていくために必要な「幸せに生きていくための権利」とされています。

今年度の人権週間のポスターには、『「誰か」のことじゃない。』とあります。人権啓発ポスターには、「一人ひとりが人権のための行動を。ふれ愛、支え愛、認め愛」とあります。

これからも「自分が嫌だと思うことは他人に言わない、他人にしない。」を基本にして、決められた日だけでなく、「毎日が人権デー」と意識していきましょう。そして、今後も学校・家庭・地域が連携して、みんなが違いを認め合う心をお互いに育み、すべての人の人権が保障される社会を実現できるよう、今まで以上に人権感覚を磨いていきましょう。

150年の節目を迎えて！

11月11日（土）に本校体育館で、創立150周年記念式典を開催しました。当日は、霧島市長様をはじめ、多くの来賓の方にご臨席を賜り、温かいお祝いの言葉を頂きました。そして、児童を代表して、6年の〇〇〇〇さんが、今後の明るい未来へ



向け、確かな一歩を踏み出す決意を述べました。今後ますます牧園小が発展していくことを願っています。

一人一人が主役の学習発表会

今年度の学習発表会は、創立150周年記念として、全校児童で盛大に開催しました。多くの保護者や地域の方に見守られながら、全ての児童が、これまでの学習の成果を存分に発揮していました。特に2年生は、国語の「お手紙」（物語文）で読み取った登場人物の気持ちをもとに、一人一人が自分のパートを舞台上で堂々と演じる姿が見られ、感心しました。客席から子どもたち全員に大きな拍手が送られました。



笑顔いっぱいのPTA秋祭り

11月11日（土）に、PTA主催の秋祭りが本校体育館で盛大に開催されました。専門部によるイベントブース（フリースロー・スカットボール・輪投げ・ストラックアウト）では、大勢の子どもたちが笑顔いっぱいに楽しく活動していたのが印象に残りました。また、1・2年生主体のお芋の販売会では、多くのお客さんで賑わい、一人一人にとって充実した体験となりました。



さらに、ステージ発表では、牧園中吹奏楽部の心のこもった素敵な演奏や、高千穂育穂会の迫力ある和太鼓の響きに、多くの来場者から称賛の拍手が送られました。秋祭りの開催にあたり、計画・準備・運営に携わっていただいたPTA役員の皆様、ありがとうございました。

思い出に残る校外学習

11月24日（金）に、全校児童による校外学習（場所：みやまコンセル、高千穂牧場）を実施しました。特に、前半の芸術鑑賞では、プロの方によるピアノ、打楽器などの演奏や、クラシック・映画音楽の楽曲の独唱に、夢中になって聴き入る姿が見られました。後半は高千穂牧場で、乳製品の製造工程を見学したり、多くの動物と触れ合ったりしながら充実したひと時を過ごしました。



今学期も充実の読書活動

「花と笑顔と読書の学校 歌声いっぱい 牧小っ子」というキャッチフレーズにもあるように、本校は、年間を通して読書活動に力を注いでいます。今学期も、朝読書の時間、図書委員会を中心に、上学年による下学年への本の読み聞かせ等を行いました。特に、11月30日（木）には、「100万回 生きたねこ」の読み聞かせを行い、全員が目まぐるしく聞いていました。

